

会 議 録

作成日 令和7年5月16日

日 時	令和7年5月14日(水) 10:30 ~ 11:30	場 所	特別養護老人ホームすこやか苑 2F 多目的ホール
会議名	令和7年度 第1回 運営推進会議		
出席者	入居者代表・家族代表・地域住民の代表(地区社協会長)・地域包括支援センター職員 施設長・生活支援課長(生活相談員)・主任支援員(介護支援専門員)		
<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶 施設長 ※自己紹介のほか、運営推進会議の趣旨、本委員会の出席者紹介、サービスの質を確保するため忌憚のないご意見を頂戴したいと挨拶あり。</p> <p>3 議 事 ※議事に入る前に各委員短く自己紹介を実施</p> <p>(1) 運営推進委員委嘱について ※別添「令和7年度 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議について」参照。一部会議日程変更(第2回 令和7年7月16日(水)→7月9日(水))を伝え、了承いただく。</p> <p>(2) すこやか苑の運営状況について ※別添「令和7年度 第1回 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議資料」参照。以下、質疑応答。</p> <ul style="list-style-type: none">入居について、ペットを同伴して入居できるのか。また他の施設の状況はどうか。<ul style="list-style-type: none">→当苑ではペットを同伴しての入居は不可。ただし、面会時に玄関ホール等でペットとの触れ合いは可能で、実際飼っている犬を面会時に連れて来苑し、定期的に触れ合っている入居者あり。→地域包括支援センターにも同様な相談があり、市内の施設等に問い合わせしたが、ペット同伴で入居できる施設は見つからなかった。今後、世の中の動向を考えれば、ペット同伴で入所できる施設も増えてくるだろう。現状では飼い主がいないペットについては、動物愛護センターに相談している。ボランティアの受入が順調だが、何か手立てを講じているのか。<ul style="list-style-type: none">→青森市社会福祉協議会が開設している青森市ボランティアセンターに施設として登録しており、そこを通じた紹介のほか、入居者家族にボランティアとして行事等に参加してもらっている。→先日、近隣町会の30周年記念でバスタオル50枚寄贈してもらった。早速活用している。このような形のボランティアもあり。同一人物が転倒を繰り返しているがその後の経過はどうか。<ul style="list-style-type: none">→毎月、安全・感染症対策委員会で対策を検討しているものの、転倒を回避できていない。本人は短期入所利用者(長期的に利用中)で活動性が高く、身の回りのことは何でも自力で行おうと意欲がある方。歩行はすり足歩行で歩容は不安定、自身も上手く歩けないとの認識はある。現在、本人の承諾を得て居室のドアを半分開け、見守りできるようにしている。また、段ボール等で居			

室床を底上げして、居室内は基本這って移動できないか思案中。

- 防災訓練にて段ボールベッドを体験した。非常に丈夫だったので、そういったものも活用してはどうか。近隣にあるレンゴーという会社は、全国でも段ボールを取り扱う大手。段ボールベッド等も作っているため、相談してみても良いかもしれない。

(3) 令和6年度特別養護老人ホームすこやか苑事業報告について

※ 別添「令和6年度特別養護老人ホームすこやか苑事業報告」参照。千代谷生活支援課長から報告。以下質疑応答参照。

- ・ 「5 行事」の報告について、8/11に開催したねぶた観覧は、地域のねぶた愛好会の皆さんの協力があって実現したと補足あり。
- ・ 「5 行事」について、「手踊り演舞会」や「ピアノと二胡の演奏会」などは、入居者に好評だった。時々話題にもあがる。ぜひ続けて企画して、楽しみを作してほしい。

4 その他

- ・ 将来の自身の入居先としてもすこやか苑に期待している。親族のケアをしているが、将来施設入所が必要になった際は相談したいと意見あり。

5 閉会

令和7年度 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議について

運営推進会議とは…

青森市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例、準用第六十一条の十七（地域との連携等）により「利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、指定地域密着型介護老人福祉施設が所在する市の職員又は当該指定地域密着型介護老人福祉施設が所在する区域を管轄する～省略～地域包括支援センターの職員、地域密着型介護老人福祉施設について知見を有する者等により構成される協議会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。ただし、利用者等が参加する場合にあっては、テレビ電話装置等の活用について当該利用者等の同意を得なければならない。）（以下この項において「運営推進会議」という。）を設置し、おおむね二月に一回以上、運営推進会議に対し活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

1 実施体制

区 分	氏 名	役職名
入居者代表		入居者代表
家族代表		家族代表
地域住民の代表者		コスモス町会町会長 浜館地区社会福祉協議会会長
地域包括支援センターの職員		青森市東部地域包括支援センター 管理者
施設職員		特別養護老人ホームすこやか苑 施設長
施設職員		特別養護老人ホームすこやか苑 生活支援課長（生活相談員）
施設職員		特別養護老人ホームすこやか苑 主任支援員（介護支援専門員）

2 会議日程

回 数	開催日
第1回	令和7年 5月14日（水）10：30～
第2回	令和7年 7月 9日（水）10：30～
第3回	令和7年 9月10日（水）10：30～
第4回	令和7年11月12日（水）10：30～
第5回	令和8年 1月14日（水）10：30～
第6回	令和8年 3月14日（土）10：30～

※ 第6回は、家族連絡会と合同開催

令和7年度 第1回 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議資料

○入所状況

■入 所	定員29人	
■稼働率	3月(95.4%) ※死亡退所1人	4月(93.1%)
■平均介護度	3月(4.4)	4月(4.3)
■平均年齢	3月(92.2歳)	4月(92.4歳)
■入所申込状況	3月(3件)	4月(1件)
	※総待機者数 39名(4月末)	
■短期入所	定員10人	
■稼働率	3月(90.0%)	4月(90.6%)
■平均介護度	3月(3.2)	4月(3.2)
■平均年齢	3月(89.5歳)	4月(89.4歳)

○職員研修等

- ・ 4/2(水) 新任職員研修
 - ・ 4/30(水) 救命救急研修① ※未受講者は5/13までに自己研修
- ※ 上記ほか、法人・外部研修へ数名参加。

○実習生・ボランティア受入、地域貢献活動

- ・ 3/11(火) アロママッサージ。近隣大学の職員1名参加。
- ・ 3/19(水) 書道クラブの講師。近隣大学の職員1名参加。
- ・ 3/28(金) お化粧品セラピーの講師。地域住民1名参加。
- ・ 4/21(月)～22(火) お花見ドライブの付き添い、車椅子移動介助。家族ボランティア3名、一般ボランティア1名参加。
- ・ 4/23(水) 入居者との話相手。地域住民1名参加。
- ・ 4/23(水) バスタオル等の寄贈。虹ヶ丘町会役員2名来苑。

○虐待防止・身体拘束廃止への取り組みについて

※ 現在身体拘束は実施なし。

○事故報告について

区 分/月	3月	4月
ヒヤリハット	0	3
アクシデント	12	7
事故 (Lv3以上)	0	0

※ 事故 Lv3 以上：通院を伴った事故ほか市役所へ事故報告したもの。

ヒヤリハット・アクシデント内容

区 分/月	3月	4月
転倒・転落	9	5
服薬	1	3
その他	2	2

ヒヤリハット・アクシデント事例

- ・ 体調を崩して起居動作能力が低下傾向にあった方のベッドサイドでの転落。
- ・ トイレで排泄後、自力で移乗しようとしてずり落ち。
- ・ 洗面後、自力で移動しようと転倒。
- ・ すり足歩行でバランスを崩しやすい方の転倒（同一人物による転倒の繰り返し）。
- ・ 歩行不安定な方（車椅子移動対応者）の車いすからの一人歩き後の転倒。
- ・ 姿勢保持困難な入居者が車いすから転落しそうになった。
- ・ 申し送り不足や確認不足による予定外の下剤服用。
- ・ 手洗い石鹸でうがいをした。
- ・ 義歯装着忘れのままの飲食。
- ・ 服薬ミスと思われる、後から落ちていた薬を発見。
- ・ トロミ剤がとけておらず、塊になっていた。誤嚥のリスクあり。

※ 毎月、安全・感染症対策委員会で対策を検討。

○全体行事やユニット行事等実施状況（3月・4月）

3/5（水）おしゃべりクラブ

3/19（水）・4/23（水）書道クラブ

4/9（水）音楽体操クラブ

4/21（月）・22（火）お花見ドライブ

※ 上記ほか、各ユニットでミニイベント（お誕生会等）を実施。

令和6年度

特別養護老人ホームすこやか苑事業報告書

第9 特別養護老人ホームすこやか苑

1 概況

すこやか苑の運営にあたっては、「基本理念」と「基本方針」の実現に向けて、入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立ったサービスの提供に努め、入居者の能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

入居者の権利擁護の推進にあたっては、年2回研修会を実施したほか、虐待防止・身体拘束廃止委員会を中心に、年2回の虐待の芽チェックリストで自己評価後、全体で振り返りを行い、気になる内容について、職員研修で意見交換を行い、虐待防止に努めた。

地域や家庭との結びつきについては、感染症の発生に伴い、ユニット単位で一時的に交流や面会を中断した時期もあったが、ユニット内の対面面会を継続した。また、3月には家族連絡会を開催し、ニーズアンケート集計結果の報告や令和7年度事業計画について説明する等、交流する機会を持った。地域貢献活動については、近隣町会の清掃活動や行事の会場設営等に積極的に参加したほか、関係団体が主催する、こころの縁側事業や老人クラブに職員を派遣し、すこやか苑の持つ専門性や技術を、研修や講座を通して地域に発信した。

ボランティアについても間接的な作業の受入れを始め、アロマハンドマッサージや行事運営補助、介護業務の体験等、延べ22人の受入れを行った。また、入居者の受入れについても、居宅介護支援事業者や保健医療機関等と密接な連携を図りながら総合的なサービスの提供に努めた。

2 重点事項の実施状況

(1) 入居者主体の支援

入居者・家族とのコミュニケーションを大切にし、可能な限り本人・家族にも参加してもらいながら、1回/3ヶ月以上カンファレンスを開催し、思いを尊重した施設サービス計画書を作成し、入居者主体の支援に努めた。

24Hシートについては、各ユニットで見直しと更新の作業を行い、活用できる状態に整備したが、入居者の状態変化に応じた更新作業が追い付かず、充分活用することはできなかった。

(2) 医療的ケアの充実

看取りケアを含む医療的ケアの研修会を実施し、医療的ケアの充実を図った。喀痰吸引等の研修についても、新たに1名が資格取得したほか、有資格者は、手技が衰えないよう月1回特定行為の実施に努めた。

(3) 人材確保と定着

介護福祉士養成校へのPR活動を行ったほか、介護の支え手による介護サポーター(介護助手)の採用に向け、事業所説明会を実施する等、人材確保に努めた。

(4) 安定的な経営基盤の確保

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護では、目標数値を0.95人下回り平均入居者数27.8人。短期入所生活介護では、目標数値を0.31人上回る平均入居者数9.1人であった。

新たな加算取得について検討したが、体制等の準備が整わず算定できなかった。

(5) 職場環境の改善

ノーリフティングケア委員会が中心になり、あおもりノーリフティングケア推進事業に係る研修会を受講し、ノーリフティングケアを推進するモデル施設となった。

働きやすい職場づくりの体制強化については、可能な限り希望休を組み込んだシフト表の作成や夜勤明け後の休日調整を行ったほか、短時間労働者の人材確保ができたことにより、見守り支援が充実し、介護スタッフの精神的負担を軽減することができた。

3 職員の状況

職名	施設長	医師	生活支援課長 (生活相談員)	看護職員	介護職員	介護支援 専門員
人数	1	1 (非常勤)	1	3	21 (非常勤含む) 【23】※2	1
職名	栄養士	機能訓練 指導員	事務員	専任当直員	介護助手・労務員	計
人数	1	1	1	3	7	41

【備考】職員全般は、併設短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護の職員兼務。

※管理者・介護支援専門員は介護職員兼務のため【23】に含む。

4 職員研修

外部研修や法人内研修へ職員を派遣したほか、苑内で次の研修会を実施した。

名称	実施時期等	参加者数	備考
新任職員研修会	4/3、12/24	計9人	高齢者施設の基本的知識として、施設理念・事業計画、ユニットケア・介護保険制度、高齢者虐待防止・身体拘束廃止・リスクマネジメント、移乗技術、高齢者の疾病と緊急対応、防災対応など
救命救急研修	4/24、11/27	計46人	急変・緊急時の対応方法、観察項目、報告手順など
感染症対策研修	5/8、10/30 3/26	計49人	食中毒や感染症予防策ガウンテクニック、感染症の拡大防止策や嘔吐物処理法、BCP（感染症編）研修・訓練
高齢者虐待防止・身体拘束廃止に関する研修	6/26、1/29	計32人	虐待の5種類・虐待と認知症の関係 事前アンケートの実施と虐待の芽チェックリストの実施による自由記述内容に基づく意見交換など
リスクマネジメント研修	7/31、12/25	計36人	事故防止の知識・ヒヤリハットの目的と意義、危険予知トレーニングなど
看取り介護研修	9/18	計10人	外部講師を招いて、他施設の看取り介護に関する取り組み状況の確認と事前アンケートにおけるQ&Aなど
感染症対策研修	10/30、3/30	計18人	感染症の拡大防止策や嘔吐物処理法、BCP（感染症編）研修・訓練など
口腔ケア研修	2/26	計12人	口腔ケアの効果と目的、口腔体操の実施方法など

5 行事

(1) 年間行事・クラブ活動

名 称	実施時期等	参加者数	備 考
ドライブ外出	4/18、19、22	34 人	外出機会を設け、季節感や爽快感を感じてもらった。
夏祭り・居酒屋	7/24	33 人	夏に因んだアトラクションや飲食を提供し、季節を感じてもらった
手踊り演舞会観覧	7/20	35 人	石川吉梅会の子供達による手踊り演舞を観覧した。
ねぶた観覧	8/11	17 人	浜館町会ねぶた愛好会を観覧し、季節を感じてもらった。
外出	9/7	3 人	シニアフェスティバル警察音楽隊コンサート外出を実施した。
敬老会	9/18	34 人	職員が歌や踊りを披露したほか、顕彰状や記念品を贈呈し、敬老の日をお祝いした。
ミニ運動会	11/27	36 人	ユニット対抗で玉入れやサイコロゲーム、お手玉選手権などの競技を行った。
新年会	1/8	37 人	新年に因んだアトラクションと職員による紅白歌合戦を披露し、新年を祝った。
ピアノと二胡の演奏会	2/26	35 人	音楽鑑賞の機会を提供し、入居者の生活に楽しみを創出した。
家族連絡会	3/16	14 人 (家族)	令和 6 年度ニーズアンケート結果報告と令和 7 年度事業計画について説明したほか、懇談会を開催した。

(2) クラブ活動

名 称	実施時期等	参加者数	備 考
書道クラブ	年 11 回	延 128 人	4/10、5/22、6/19、7/18、8/21、9/25 10/23、12/18、1/22、2/19、3/19
おしゃべりくらぶ	年 4 回	延 118 人	5/15、7/10、11/13、3/3
音楽体操クラブ	年 6 回	延 173 人	4/17、6/12、8/14、10/9、12/11 2/12

(3) 会議・各種委員会等

名 称	実施時期等	参加者数	備 考
全体会議	年 12 回	各回 約 15 人	施設長からの指示事項ほか、協議伝達等
ユニットリーダー会議	年 12 回	各回 5 人	ユニットリーダーを中心にユニット運営について協議
給食会議	年 12 回	各回 7 人	嗜好に合わせた献立、味付け、調理方法（食形態）の検討
サービス担当者会議	地域 154 回 短期 20 回	各回 約 7 人	施設サービス計画や短期入所生活介護計画書作成など介護方針の協議決定
運営推進会議	年 6 回	各回 約 6 人	施設運営の現状報告、課題等への助言等
苦情解決協議会	年 4 回	6 人	各種苦情解決へ向けての協議 (苦情：0 件)
苦情解決第三者委員 相談日	年 10 回	延 23 人	第三者委員が輪番制で来苑し、苦情、要望の聞き取りを対面で実施

入所判定会議	年9回	各回 約6人	入居者の決定に当たり、決定過程の 公平性・透明性を確保
リスクマネジメント・ 感染症対策委員会	年12回	各回 約9人	月ごとの事故分析・対策検討 食中毒・インフルエンザ・新型コロナ ウイルスなど感染症対策について 協議、褥瘡予防改善に向けた検討、 BCP（感染症編）研修・訓練の企画 運営及び見直し
虐待防止・身体拘束廃 止委員会	年7回	各回 約8人	虐待が疑われる案件や身体拘束が疑 われる案件等について協議
ノーリフティングケア 委員会	年11回	各回 約9人	介護機器やノーリフティングケアの 導入に向け検討及び腰痛調査、職場 環境調査の実施、あおもりノーリフ ティングケア推進事業への参加
看取り介護実施委員会	年3回	各回 約9人	看取り介護の振り返りと指針やマニ ュアルの見直し
研修委員会	年4回	各回 約3人	内部研修・研究発表に関する企画・ 実施
防災委員会	年2回	各回 約9人	防災マニュアルの整備や防災訓練の 企画運営、BCP（自然災害編）の研 修・訓練の企画運営及び見直し

6 健康管理

内 容	実施時期等	対象者	備 考																												
バイタルチェック	入浴日 ほか随時	全入居者	体温・血圧・SPO2・一般状 態や皮膚状態の観察等																												
体重測定	毎 月	全入居者	低体重者は1回／2週間測定																												
配置医診察	毎週木曜日	全入居者	入居者の診察・薬の処方・検査 や通院等の指示等																												
通院・往診	随 時	通院が必要な入居者	(通院) <table border="1"> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>5人</td> <td>消化器内科</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>14人</td> <td>精神科</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>皮膚科</td> <td>14人</td> <td>内分泌科</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>0人</td> <td>認知症外来</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科</td> <td>1人</td> <td>循環器内科</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>2人</td> <td>救命救急</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科</td> <td>0人</td> <td>腎透析</td> <td>156人</td> </tr> </table> ※歯科往診45人 ※延人数、短期入所利用者除く	泌尿器科	5人	消化器内科	3人	整形外科	14人	精神科	0人	皮膚科	14人	内分泌科	3人	外科	0人	認知症外来	0人	耳鼻科	1人	循環器内科	1人	眼科	2人	救命救急	6人	脳神経外科	0人	腎透析	156人
泌尿器科	5人	消化器内科	3人																												
整形外科	14人	精神科	0人																												
皮膚科	14人	内分泌科	3人																												
外科	0人	認知症外来	0人																												
耳鼻科	1人	循環器内科	1人																												
眼科	2人	救命救急	6人																												
脳神経外科	0人	腎透析	156人																												
予防接種	10月 11月	入居者	新型コロナウイルスワクチン インフルエンザワクチン																												
口腔ケアに係る技術的助 言及び指導	月1回	看護職員 介護職員	歯科医・歯科衛生士による助言 指導																												
機能訓練	週2回程度	全入居者	機能訓練計画書による個別機能 訓練 短期入所利用者は集団体操																												
ラジオ体操	週3回程度	入居者	毎週月・水・金																												
訪問理美容	第三水曜日 ほか	延110人	訪問美容：毎月第三水曜日 訪問理容：毎月第三木曜日																												

7 安全・防火管理

防災訓練（避難訓練）のほか、消防機器の法定点検・自主点検を実施した。

内 容	実施時期等	参加者数	備 考
防災訓練（夜間火災想定・消火・通報訓練、BCP研修・訓練）	5/29	53人	職員32人、入居者21人
防災訓練（通報・消火・避難訓練、地域防災協力隊の活動内容の確認、BCP研修・訓練）	10/5	65人	職員24人、入居者31人 地域防災協力隊10人
防災訓練（地震・水害・土砂災害を想定した対応訓練、備蓄食品保管場所の確認・試食、防災士による講話）	11/6	18人	職員18人、家族1人

8 地域（住民・ボランティア）との連携と地域貢献

内 容	実施時期等	参加者数	備 考
書道指導	4/10	1人	ボランティア
お花見ドライブ外出補助	4/19、22	3人	ボランティア
送迎車・車椅子清掃	5/7	1人	ボランティア
虹ヶ丘町会 春の清掃	5/12	5人 (職員)	地域貢献
浜館地区社会福祉協議会 こころの縁側事業 レクリエーション講師	5/13	1人	地域貢献
おしゃべりクラブ運営補助	5/15	1人	ボランティア
書道指導	5/22	1人	ボランティア
虹ヶ丘町会 ひまわり通り花壇の花植え	5/26	6人	地域貢献
車椅子清掃・入居者散歩補助	6/7	1人	ボランティア
車椅子清掃・洗濯畳み	7/5	1人	ボランティア
アロマハンド・フットマッサージ	7/8	1人	ボランティア
書道指導	7/18	1人	ボランティア
虹ヶ丘町会夏祭り会場設営	7/27	2人 (職員)	地域貢献
車椅子清掃・洗濯畳み	10/22	1人	ボランティア
車椅子清掃・入居者外出補助	10/24	1人	ボランティア
老人クラブほのぼの会 健康講話	10/25	1人 (職員)	地域貢献
介護業務見学・補助	11/27～29	1人	ボランティア
書道指導	2/19	1人	ボランティア
音楽演奏会補助	2/26	3人	ボランティア

アロマハンドマッサージ	3/11	1人	ボランティア
書道指導	3/19	1人	ボランティア
お化粧品セラピー	3/28	1人	ボランティア

9 実習の受入れ

内 容	実施時期等	参加者数	備 考
令和6年度社会福祉基礎実習Ⅰ	7/3	4人	青森県立保健大学1年生
職場体験	7/4～7/5	4人	青森市立戸山中学校2年生
福祉施設職場体験	7/17	1人	青森私立明の星高等学校
令和6年度ソーシャルワーク実習Ⅱ	8/5～9/5	1人	青森県立保健大学3年生
義務教育教員免許志願者に対する介護体験	8/19～8/23	1人	弘前大学教育学部
2024年度介護実習	9/2～9/21	1人	青森明の星短期大学1年生
介護労働講習（実務者研修含む）に係る介護現場実習	10/28～10/30	2人	介護労働安定センター
令和6年度ソーシャルワーク実習Ⅰ	11/18～11/27	2人	青森大学2年生
令和6年度ソーシャルワーク実習Ⅰ	12/23～1/31	1人	青森県立保健大学2年生

10 事業概要

I 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ユニット型）

(1) 概況

ユニットケアの理念に基づいた個別支援に重点を置き、入居前と入居後の生活が連続したものになるよう、入居者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重しながら各ユニットにおいて相互に社会的関係を築き自律的な日常生活を営むことができるよう支援した。

令和6年度の入退居状況については、入居が10人、退居が12人という状況であった。平均介護度は4.3、平均年齢は91.9歳だった（令和6年度末時点）。

稼働率は、平均95.8%で前年度比2.5%と下回った。目標数値についても0.95人下回る平均入居者数27.8人の結果となった。

【稼働率と実数】

※月末時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働率(%)	95.2	93.5	96.7	96.3	96.9	90.2	95.6	100	96.6	96.6	96.6	95.4	95.8 (平均)
実数(人)	828	841	841	866	871	785	859	870	868	868	784	858	10139

(2) 定員

29人（10人×2ユニット、9人×1ユニット）

Ⅱ 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

(1) 概況

居宅の要介護者等に、入居者の自律生活を保障する個室と、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活できるユニットケアを提供するとともに、その家族の身体的、精神的負担を軽減できるようサービスを提供した。

令和6年度の新規契約者数は5人、平均介護度は3.2、平均年齢は87.0歳だった(令和6年度末時点)。

稼働率は、平均91.7%で前年度比12.7%上回り、目標数値についても0.31人上回る結果となった。

【稼働率と実数】

※月末時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働率(%)	91.0	91.0	91.7	92.6	86.1	89.3	93.2	97.7	89.4	89.4	99.3	90.0	91.7(平均)
実数(人)	273	282	275	287	267	268	289	293	277	277	278	279	3345

(2) 定員

10人(10人×1ユニット)

※上記ほか、併設・空床利用型であるため、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護における空きベッド利用可。